

響いてきました 文化の鼓動

「霧晴れて 文化の鼓動 球磨」をテーマに第七回熊本県民文化祭人吉球磨が十月二十二日（土）から三十日（日）までの九日間、人吉市、球磨郡の十四市町村の各会場で開催されました。コンサート、童話や短歌などの発

表大会、演劇、展示、講演会、大茶会、食文化展など、主催事業三十三、協賛事業十四の多彩なプログラムが展開され、十万人以上の参加者が文化の鼓動を体感しました。

中でも注目を集めたのが、「相良十三観音特別展」と「清流の集い（社交ダンスの集い）」でした。

札所制定二百年記念「相良十三観音特別展」は、十月二十二日（土）から二十四日（月）までの三日間、湯前町農村環境改善センターで行われました。寛政六（一七九四）年、井口美辰が「御郡中観音堂三十三所願札之次第并和歌」を書き残してから、今年がちょうど二百年にあたるのを記念して、三十三観音像のうち、二十六体の実物と七体の実物大パネルが一堂に集められ、展示されました。県や市町村の重要文化財に指定されたものもあり、観音像の移動には細心の注意が払われ、



グランドフィナーレ



車いすダンス 車いすドライバーとスタンディングパートナーがペアになって

地元消防団の二十四時間体制中での展示でした。「相良十三観音巡り」は、車を使ったとしても丸々二日はかかると言われていましたが、この時は、観音像を一度に拝むことができました。訪れた人たちは、またとないチャンスを手にしたばかりでなく、観音様の優しい心に触れることができた、と感激を語っていました。

また、十月二十九日（土）、人吉市文化センターでは「清流の集い（社交ダンスの集い）」が開催されました。初めての試みとして車いすダンスの発表の部が設けられましたが、リズムに乗って軽やかに踊る車いすドライバーとスタンディングパートナーに温かい拍手が送られていました。



相良十三観音特別展

交流・情報の窓口として高まる期待

中国・東南アジアが ターゲット

県は平成二年から毎年、香港大丸での観光物産展を開催するほか、平成四、五年度には香港の経済人を招待するなど、香港との経済交流を進めてきました。

交流も五年目となる今年、県ではジェット口香港センターに香港駐在員事務所を開設。最近、発展いちじるしい中国・東南アジアへの窓口を作りました。

駐在員事務所へは、職員を二名派遣。本県と香港のみならず、中国・東南アジアとを結ぶ経済交流、企業情報の連絡窓口として、あるいは産業、観光などのPR窓口としての働きを期待されています。

事務所の稼働は平成七年一月からとなりますが、これに先立ち、熊本の、また企業のPRのための「熊本・香港交流会」

香港駐在員事務所開設

経済観光交流イベントを県内企業などの参加を得て今年も開催。ここでも、駐在員事務所開設が披露されました。

熊本・香港経済観光交流イベント

●産業観光展

十月二十五日（火）二十八日（金）、香港のリッポセンターで、県内企業の紹介や観光PR、香港企業との商談などが行われました。

●物産展

十月二十六日（水）十一月一日（火）、香港大丸で県産品の展示、即売、実演販売がありました。

●交流会

十月二十四日（月）、香港のパークレーンホテルで催され、香港経済界の方々と親交を深めたほか、駐在員事務所開設もPRされました。

熊本県物産展オープニングセレモニー



新しくなつてさらにイメージアップ!

銀座の下真ん中で、 ”熊本”に会える!

昭和六十二年の開館以来、東京での熊本の情報発信基地としてかわいがられてきた銀座熊本館。より多くの人に熊本を知ってもらい、好きになつてもらえるようにと、十月四日（火）リニ

ユアールオープンしました。新しくなつた銀座熊本館は、一階が《くまもと観光物産プラザ》。観光案内や物産展示・販売コーナーのほか、くだもの祭りや陶芸祭りなどのイベン



くまもと観光物産プラザ

銀座熊本館リニューアルオープン

トも行っています。二階は《くまもとサロン》。懇談や企業誘致、Uターンなどの相談コーナーとして活用しているほか、今後は絵画展やミニコンサートなどの小イベントも予定しています。また、美しい熊本のイメージづくりにと、屋外には山鹿灯籠娘像や天草の熱帯魚、花壇も設置しています。ぜひ、一度、足を運んでみてください。